



## 地域連携の部屋

このコーナーでは、徳島大学病院が徳島県や他の医療機関の皆さま等と協力し、患者さんへのよりよい医療の提供を目指してすすめている、様々な取り組みについて取り上げます。

Vo.9

### 地域連携病院④ 「近藤内科病院」

**チーム医療、全人的ケア、家族ケアの充実で安らかな日々  
今回はホスピス・緩和ケアに力を注ぐ近藤内科病院をご紹介します。**

#### ■いち早く緩和ケアに取り組んだその歩みと実績

近藤病院は内科全般の病気に対応する家庭医としての機能を持ちつつ、「ホスピス徳島」を誕生させて10年、病棟はもちろん在宅・介護分野でもトータルに緩和ケアに取り組んでいます。

「多くの医療・介護の現場が連携を図って機能するように、徳島市医師会と協力して徳島緩和ケアネットワークを立ち上げております。日常生活を持てるのが患者さんのQOL(命の質)を大きく向上させます。」と近藤院長。

院長ご自身が困境世代の第一期であることもあり、今後も増え続けることが予想されるがんの治療と緩和ケアについてとくに力を入れてきました。

その一例が、季節の行事をはじめコンサートや絵画展などの催し物の頻繁な開催。

「家族や知り合いも緩和ケアを訪れて、にぎやかに季節の行事を楽しむことは心のケアにつながると考えています」とのことで、院内にある広々としたホスピスの庭は樹木に囲まれた芝生が綺麗に整備され、取材に伺った際は特大の鯉のぼりが悠然と五月晴れの空に泳いでいました。

#### ■次代を担う若手を育てる現場での学びと経験

どんなベテランの医師も最初は誰しもが新人、初心者。先輩や周囲、そして患者さんとの関係のなかで育っていきます。

そうしたことから、地域医療見学をはじめ医学生、研修医の受け入れにも積極的に協力しています。

「私自身、25年前に30歳のがん末期患者さんに告知することでいろいろと教えられました。患者さんやご家族から学ぶことが大切で、臨床の現場ではそれが可能です。この学びが、私たちの緩和ケア病棟の運営に活かされています。」と、近藤院長は述懐します。

若い医療者が、ホスピタルケアを肌で感じ取ってほしいという思いから、医学生・看護学生の実習やホスピタルケア認定ナースの研修、また卒後臨床研修協力病院として、徳島大学病院・日本赤十字病院・徳島市民病院などから、若い医師の研修を積極的に受け入れています。

#### 「地域医療連携」について

徳島大学病院地域医療連携センターでは、大学病院と地域の医療機関との円滑な橋渡しを目指して、大学病院での高度先進医療から、患者さんがお住まいの地域の診療機関と連携し、在宅療養へと継続できるようサポートしています。



説明は  
**近藤彰**(こんどうあきら)  
院長

■問い合わせ  
医療法人 若葉会  
近藤内科病院  
徳島市西新浜町1丁目6番25号  
Tel.088-663-0020